

▶大國魂神社東側に整備された市史跡「武蔵国衙跡」



平成20年度府中市一般会計予算

835億円を可決

第1回定例会 34議案を審議

平成20年度一般会計予算は、予算総額が歳入・歳出それぞれ835億円で、前年度に比べ4.2%の増となっています。

提案に当たり、市長から「20年度が第5次府中市総合計画後期基本計画のスタートの年度であり、『心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち』を実現するため、中長期的な財政見通しの中で、財政運営の健全性を維持し、予算編成に努めた。

特に、20年度は税制度の見直し等に伴う経済的負担の軽減を図るため、緊急対策事業として各種事業を盛り込んだ。低所得者へは、国民健康保険、後期高齢者医療等の保険税・保険料の軽減を、高齢者へは、後期高齢者ヘルパー派遣事業などを、子育て・ひとり親家庭へは、認可外保育施設入所児童保護者補助金など、緊急を要するきめ細やかな支援として3分野13事業を行い、やさしさあふれるまちづくりを目指す。

その他、小中学校を初めとする公共施設の耐震化・老朽化対策など、細心にして大胆な予算編成を行ったとの説明がありました。

3月5日から11日までの5日間にわたり、開催された予算特別委員会で慎重な審査が行われました。

3月13日の本会議で賛成

・反対討論が行われ、採決の結果、賛成多数で平成20年度一般会計予算が可決されました。

(関連記事2・3ページ)

主な施策

- 緊急対策事業
 - 保険税軽減事業(国民健康保険特別会計)
 - 介護予防普及事業
 - 認可外保育施設入所児童保護者補助金
- 新規事業
 - 理科指導支援員等配置
 - 障害者自立生活支援事業
 - レベルアップ事業
 - 妊婦健康診査
 - 放課後子ども教室事業

意見書

◎道路特定財源の堅持を求める意見書

19年度内に道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、道路整備が困難になるばかりか、財政の悪化により他の行政サービスが低下し、市民生活に深刻な影響を及ぼすことが危惧される。本市議会は、国会及び政府に対し、貴重な地方の財源が地方自治体等に与える影響を真摯に直視し、暫定税率を継続し道路特定財源を堅持するための関連法案を確実に年度内に成立され

選挙管理委員及び補充員の選挙

定例会最終日の本会議で選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

選挙管理委員

- 鹿島 恒雄氏(77歳)
- 内藤 和良氏(58歳)
- 前田 勝夫氏(62歳)
- 野尻 亜弓氏(44歳)

選挙管理委員補充員

- 栗田 正美子氏(67歳)
- 中山 京子氏(64歳)
- 大塚 勝子氏(64歳)
- 宮崎 巖氏(70歳)

委員会条例の一部を改正

府中市議会委員会条例の一部を改正する条例が3月13日の本会議で可決され、各常任委員会の名称、定数及び所管は、次のとおりとなりました。

- 総務委員会 8人
 - 政策総務部、税務管財部、事業部、出納課、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
- 文教委員会 8人
 - 文化スポーツ部、子ども家庭部及び教育委員会の所管に属する事項
- 厚生経済委員会 7人
 - 市民生活部、福祉保健部及び農業委員会の所管に属する事項
- 建設環境委員会 7人
 - 環境安全部及び都市整備部の所管に属する事項

決議

◎調布基地跡地都市整備用地に関する決議

国は基地跡地の利用方針を転換し、土地利用計画の策定、提出を地元自治体に求めているが、都市整備用地を国家公務員宿舎の建設候補地として、国が本市に受入れを求めていることは、地元利用計画の策定に支障を及ぼすものである。よって、本市議会は、国家公務員宿舎の建設を地元の意向を全く無視したものと見て絶対に容認することができないことを決議する。